

地域福祉活動情報紙 No.10



なばりんく

10・11月号

しあわせ写真



移動おもちゃ図書館始めました

(くらっコン広場)

楽しいね・・・
かわいい笑顔が
いっぱい集まり
ました!!

まちびと探し

今月の まちびとさん



はまぐち かよ
濱口 佳代さん(48)

箕曲小学校で子どもたちに本の読み聞かせや、図書の整理などの『図書室ボランティア』として活動している濱口さん。6人が所属する活動メンバーの中でも9年間と長く続けており、子どもたちやメンバーからの信頼も厚い。

活動のきっかけは、当時の校長先生から子どもたちの保護者に本の整理をお願いできないかと依頼を受けたのが始まりだった。

子どもたちが本を読む機会を増やすため、間違い探し等の雑誌を取り入れてみるなど、子どもたちが気軽に本と接することができるよう配慮を欠かさない。また、今年は図書室に入れる本をPTA・ボランティア・先生そして子どもたちとも話し合い、子どもたちが読みたくなる本を取り入れることができると期待している。書庫の配置や安全面についても学校の先生では気付かない、お母さんとしての視点でみんなで協力しながら取り組みを行っている。こうした図書館ボランティアとしての活動を続けることで、まちを歩いている時に「あっ！本を読んでくれるおばちゃんや」「おばちゃん今度はこんな本読んで」と声をかけてくれるのがとても嬉しいと笑顔で話してくれた。

同小学校に在学している子どもたちのお母さんだけの活動で、「子どもたちが卒業すると辞めていく人も多く、次へ繋ぐ人が減ってしまう。今後の活動をどうしようかと思うところもあるけれど、いろいろ考えながら子どもたちに喜んでもらえるような活動を続けていきたいです。」と熱く語ってくれた。

※箕曲小学校図書室ボランティアの活動記事を2ページに掲載しています。

地域ピックアップ! 《箕曲地域》

箕曲小学校図書室ボランティア

箕曲小学校図書室ボランティアは学校支援ボランティアの中で一番古く、9年前の春から箕曲小学校の保護者が集まり活動しています。当初は毎日図書室の掃除に明け暮れていたそうです。子どもたちの本離れもあって、その年の冬からクラスでの読み聞かせを始めました。最初は4人で2人づつクラスを回っていましたが、今では隔週水曜日に始業前の20分ほど、1年生から6年生の6クラスで「モーニングプレゼント」として読み聞かせをしています。一番大変なことは、1年生から6年生と年齢幅があるので、子どもたちが喜んでくれる本を選ぶ事だそうです。また、子どもたちが図書室に足を運んでもらうようにと、図書室を季節の飾りもので飾ったりテーブルにクロスを掛けたりして子どもたちが喜ぶような雰囲気づくりにも工夫しています。



このような学校支援ボランティアは、他に登下校の見守り・桃の木の世話・花壇づくり・学習支援等で18名が登録されているそうです。けれども、“保護者の方はもとより、民生委員児童委員さんを始め地域の方がいつも子どもたちを見守ってくれている、とても温かい学校です。”と先生は話してくれました。



サロン活動紹介

比奈知地域「たんぽぽクラブ」

活動されて今年で8年目を迎える「たんぽぽクラブ」は地域の活性化と高齢者福祉を目的に、当時の自治会長さんが民生委員さんをお願いし、世話好きの女性が集まって始まりました。南富貴ヶ丘にお住まいの65歳以上の高齢者を対象に毎月第1・3木曜日に実施されています。協力いただいているボランティアさんは、立ち上げ当初からずっと活動を支えています。

9月20日に開催したサロンでは、民生委員さんからお彼岸の話聞いたあと、フラダンスで体を動かしました。また、ハロウィンが近いということで大きなカボチャをくり抜いて、高齢者の方もボランティアさんも童心にかえてジャックランタン作りを楽しみました。できたカボチャに早速民生委員さんが電球を入れてくれました。昼食はボランティアさんの手づくりパスタを、午後からはみんなでおはぎを作って美味しくいただきました。



定期的にサロンで集い交流することで、地域内での日常的なつながりづくりができ、災害時など助け合いができるように、また男性の高齢者の方も気軽に来てもらえるようにと考えています。

【開催場所】南富貴ヶ丘集会所

【開催日時】毎月第1・3木曜日(10:00~15:00)

トーク ボランティアリレーTalk!

つねき はるえ
常木 春枝さん

(要約筆記サークル
「カワソ」代表)



まだかなりの人は、「要約筆記ってな～に？」と思っているかもしれません。筆談とよくまちがわれます。筆談は当事者がするもの、要約筆記は第三者が聞こえの悪い人のためにやるものと考えていただくと、少しだけみえてくると思います。私自身がこれに関わりを持つきっかけは、『手話サークルに入ったことだった』と言うとげげんに思う人もあるかと思いますが、手話の勉強に来た難聴者の隣の席に座ったことです。聞こえが悪いのに(音がはずんで聞こえたり、不明瞭だったり)しらない「ことば」を勉強するのは大変です。だから、講師の話の要点を書いて、その人が不安な表情の時に見せたのがきっかけで、その後要約筆記の講座を修了し、その翌年、名張市に引っ越してきました。名張ではサークルに入って続けようと思っていましたが、市の福祉課で案内をこうと「それ、何ですか」と聞かれる様でした。3年目にボランティア協議会の総会で他のサークルから出席したひとりの難聴者、実際に困っている人との出会いからサークルを立ち上げる決心がつかしました。それで「カワソ=ともだち(マレー語)」ができました。しかし、市や県の講座修了、認定者でないとな実際の活動ができないので、今も会員の獲得には苦慮しているのが現状です。「聞こえない人」には手話と思う人も多いですが、大人になって聞こえが悪くなるとすぐには使えません。それにまた「聞こえの悪さ」は自分から発信してもらわないと周りにはわかりにくいので「お役立ち」が本当にできているのかの確認も大変です。ですから、必要な時は気軽にご相談ください。

音楽工房

便り♪ 「東京ラプソディー」

“みんなでいっしょに唄いませんか”

- ◆10月30日(火)
- ◆時間: 10:30~11:30
- ◆会場: 名張市総合福祉センター
ふれあい

◆対象: 名張市内65歳以上の高齢者

- ◆11月6日(火)
- ◆時間: 13:00~14:00
- ◆会場: 梅が丘市民センター
- ◆対象: 名張市内在住の方

◀11月は梅が丘地域開催になります▶
上記いずれも
※参加費無料・申込み不要

♪花咲き花散る宵も 銀座の柳の下で
待つは～♪

秋と言えば…食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など色々ありますが、みなさんは秋を満喫していらっしゃいますか?

今回は、東京ラプソディー♪です。明治37年11月18日に誕生した古賀政男さんによる作品はたくさんあります。この曲は昭和11年に藤山一郎さんによって歌われました。また藤山一郎さん主演、同名の映画もつくられました。歌詞の中に「ティールーム」や「ジャズ」など、モダンな言葉が出てきます。この曲が出来た昭和11年頃の東京…憧れの町、楽しい夢の町と言う感じがしてきます。みんなで歌うと心はウキウキしてきますよ～!さわやかな秋のひとつき、軽快なリズムに乗って、みんなで一緒に唄いましょう!!



10月、11月、12月の 介護者サロン “さくら喫茶”

日頃、家族の介護をされている方!!
“さくら喫茶”でお茶を飲みながら、ちょっとひと息つきませんか?

開催日時・場所

- ・10月16日(火)・11月5日(月)
- ・12月7日(金)

上記いずれも

開催場所 名張市総合福祉センターふれあい
102会議室

開催時間 13:30~15:30

参加費 100円 (申込み不要)

“さくら喫茶”は8月から「ふれあい」で開催しています。介護経験のある方や、介護中の方もアドバイザーとして参加されていますので、是非来てみてください。

☆お茶、コーヒー、紅茶、お茶菓子等をご用意してお待ちしています。
ご都合のつく時間には是非お越しください。

主催: 名張市社会福祉協議会
共催: 名張市家族介護者の会「楓の会」
協力: 生活協同組合コープみえ





材料(6~8人分)

- ・卵:3個
- ・砂糖:70~80g
- ・生クリーム:200cc
- ・クリームチーズ:100~200g
- ★カロリーが気になる方は、100gにしても良い。
- ・小麦粉:大さじ3(山盛り)
- ・レモン汁:大さじ3(レモン半分)
- ★酸味の好きな方はレモン1個分

手づくりレシピ紹介 『チーズケーキ』 ～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか～

『作り方』

- ①材料を全部ミキサーに入れ、かき混ぜる。
- ②混ぜたら18cm型にクッキングシートを敷き、流し込む。
- ③オーブンを180度に設定し、30~40分焼く。
※オーブンの種類により、調整してください。
- ④表面に焼き色が着き、少し割れ目ができてきたら、つまようじで刺してみる。つまようじに何もついてこなければ焼き上がり。
- ⑤オーブンから出して冷ます。
※熱いので火傷しないように気を付けてください。
- ⑥冷めたら、型から出してできあがり。

簡単に作ることが出来て、とても美味しいです。是非ご家庭でも作ってみてくださいね!!



☆レシピ提供・協力:名張市精神障害者家族会「なばるの会」☆

同会は、精神障害者の家族で構成する会で、会員の親睦・勉強会・会の啓発活動を目的として活動しています。

名張のむかしを歩もう!



上八町は戦後、七夕祭を始めたのが一番早く、城下川の流りが風情を呼び、夏祭りのさきがけとして町の親睦のためにも、下八丁(現在の東町)と別れてからずっと上八町の七夕さんは発展してきました。上八町は初瀬街道筋だけに遊郭があり、賑やかでした。今も藤山、山口、浅尾という3、4軒の家が残っています。当時は芸者の置屋さん豊岡楼、川上楼の全盛期でした。遊郭は私の生まれる前、大正時代にはすでにありました。赤線廃止で廃業し、家はそのまま残っている所もあります。喫茶店「ヒサゴ」は山口楼の前にありました。私の家のあたりは、全部二階に

手すりがあり、そこから「おやまさん」が下を見ていました。

藤山楼、山口楼、小松さんとかの家もありますが、当時は山口楼が一番大きな処でした。川上楼の全盛期には、私の家も大きかったので、芸者さんに2・3軒貸してそこから川上楼にかよっていました。

※ おきつもを語る会 渋谷 岩蔵



協力:おきつもを語る会

(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行:社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地
名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111
FAX番号 64-3349
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
Emailアドレス volunteer@nabarishakyo.jp

発行部数: 1, 150部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近大高専、名張市役所、名張市立病院、総合体育館、協力店舗(いいの、吉野豆腐、大為陶器、はなびし庵、矢の五薬局夏見店、山平たばこ店、cafémjuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋)

※設置協力店舗募集中です!

《協力店舗の「cafémjuk(カフェミューク)」は旧店舗近くの古民家を改装し、7月30日より新しい店舗(上八町)で営業を再開されました。》